

中間ディスクロージャー誌 平成 28 年 9 月期 | 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 9 月 30 日

長崎銀行



特集 1

西日本フィナンシャルホールディングス、誕生。

特集 2

輝く女性行員たちに聞きました！
第 1 回 女性支店長職座談会

THE BANK OF NAGASAKI
REPORT
2016

長崎銀行

中間ディスクロージャー誌

平成28年9月期 | 平成28年4月1日～平成28年9月30日

C O N T E N T S

- 02 ごあいさつ
- 03 当行のあゆみ・プロフィール
- 04 経営理念・経営方針・中期経営計画

- 05 特集 1
西日本フィナンシャルホールディングス、
誕生。

- 11 法人・事業主のお客さま
- 12 個人のお客さま
- 13 地方創生への取組み
- 14 地域の皆さまとともに
- 15 西日本シティ銀行との人事交流
- 16 行員の紹介

- 17 特集 2
輝く女性行員たちに聞きました！
第1回女性支店長職座談会

- 19 業績のご案内
- 21 安心への取組み
- 22 店舗・ATM一覧

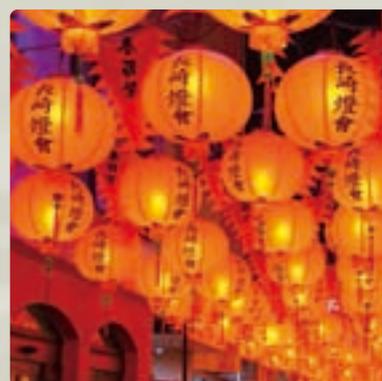
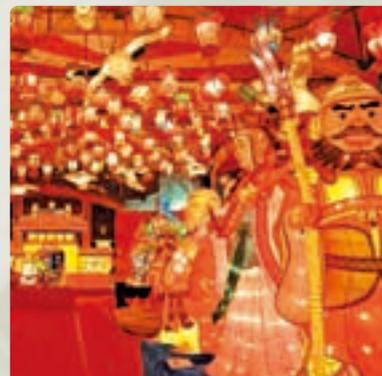


表1・表2・表4 画像提供／長崎県観光連盟

■ごあいさつ



皆さまには、平素より当行を格別にお引き立ていただき、また、常に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、この度平成 28 年度中間期の経営内容や考え方などをわかりやすく説明した「長崎銀行中間ディスクロージャー REPORT2016」を作成いたしました。皆さまに当行をより一層ご理解いただき、さらに身近な銀行として感じていただくことができましたら幸いに存じます。

当行は、平成 26 年 4 月にスタートした中期経営計画「SMILE(笑顔) and ACTION(行動)!!!」において、「お客さま本位のもと、地域での存在感を示し、長崎でいちばん信頼され、愛される銀行」を、目指す銀行像として掲げ、皆さまのニーズに迅速かつ的確に対応するよう努めております。

このような中、西日本シティ銀行グループは、グループを取り巻く経営環境の変化等を踏まえ、グループ各社の特長・強みを更に発揮し、将来のさまざまな環境変化やリスクに適切に対応するため、平成 28 年 10 月 3 日、西日本フィナンシャルホールディングスグループとして新たにスタートしました。

当行は、西日本フィナンシャルホールディングスグループの一企業として、持株会社である西日本フィナンシャルホールディングスを頂点とした持株会社体制のもと、グループ総合金融力を一段と進化させ、「地域経済へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」を目指してまいります。

今後とも、皆さまのなお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成 29 年 1 月

取締役頭取 **山本一雄**

当行のあゆみ・プロフィール

当行は、大正元年に創業し、昨年 11 月で創業 104 年を迎えました。これもひとえに、お客さま、地域の皆さまの温かいご支援とご愛顧の賜物であり、心より感謝申し上げます。

1912 大正 元年	長崎貯金株式会社設立
1915 大正 4年	長崎無尽貯金株式会社に商号変更
1916 大正 5年	長崎無尽株式会社と改称
1924 大正 13年	本店を長崎市栄町 3 番 14 号に移転
1941 昭和 16年	昭和無尽株式会社と合併
1942 昭和 17年	諫早無尽株式会社を吸収合併
1951 昭和 26年	相互銀行法施行に伴い株式会社長崎相互銀行と改称 熊本中央信用組合の事業を譲り受ける
1989 平成 元年	普銀転換により株式会社長崎銀行と改称
2001 平成 13年	株式会社福岡シティ銀行の子会社となる
2004 平成 16年	親会社である株式会社福岡シティ銀行が株式会社西日本銀行と合併し 株式会社西日本シティ銀行となる
2009 平成 21年	有価証券事業を株式会社西日本シティ銀行に会社分割の方法により承継
2012 平成 24年	創業 100 周年
2014 平成 26年	株式会社西日本シティ銀行の完全子会社となる
2016 平成 28年	株式会社西日本フィナンシャルホールディングスが設立され、その子会社となる



大正 13 年当時の本店社屋



現在の本店社屋

プロフィール

資 本 金	61 億円	預金・譲渡性預金残高	2,502 億円
総 資 産	2,669 億円	貸 出 金 残 高	2,320 億円
自 己 資 本 比 率	8.78%	店 舗 数	23 か店
		行 員 数	265 人

(平成 28 年 9 月 30 日現在)

経営理念・経営方針・中期経営計画

経営理念

お客さま本位のもと **健全経営**に徹し **地域社会に奉仕**する

地域金融機関としてお客さまのご繁栄を願い、地域社会の発展に奉仕することを使命として、地域になくてはならない銀行を目指して、さらに努力してまいります。

経営方針

■ 経営理念の実現のために次のことに努力してまいります。

健全経営

健全経営を通して強固な経営体質を築き、地域社会の繁栄に奉仕してまいります。

お客さま本位

「お客さま第一」の精神に基づき、常により良い金融サービスの提供に努め、地域の皆さまの信頼と期待に応え得る銀行を目指します。

人財の育成

環境の変化に柔軟かつ機敏に対応できる行動力とチャレンジ精神を持った行員の育成に努め、行員一人ひとりが持てる力を十分に発揮できる、のびのびとした活動的で風通しのよい企業風土の確立を目指します。

中期経営計画

長崎銀行 中期経営計画

「SMILE(笑顔) and ACTION(行動)!!」
～ お客さまのために、地域のために、汗をかこう ～

経営理念に基づいた「目指す銀行像」の早期実現に向け、平成26年4月より3年間の中期経営計画に取り組んでおります。

取組姿勢

- “地域に根ざした銀行”という存在感を示すため、全役職員がともに“考え、汗をかき行動”し、お客さまのニーズに迅速かつ的確に対応することで、地域と共存するお客さまの繁栄と地域発展に貢献します。
- 地域のお客さまとともに成長し続けていくため、当行が成し得る最大限の努力を惜まず、全役職員が“笑顔”で、何事にも前向きに“行動”します。
- 国内トップレベルのノウハウを有する西日本フィナンシャルホールディングスグループの総合力を最大限に活用します。

中期経営計画の概要

計画期間：平成26年4月～平成29年3月

目指す銀行像 「お客さま本位のもと、地域での存在感を示し、長崎でいちばん信頼され、愛される銀行」

主要施策(6つの基本戦略)

収益基盤の拡大

(リテール営業強化、顧客基盤拡充、預金調達力強化)

経営基盤の強化

(法令等遵守、経営環境変化等への柔軟な対応、財務基盤の充実、生産性向上)

お客さま目線に立ったサービス向上

(商品・サービス・利便性向上、インフラ整備)

営業態勢の高度化

(新情報系システムの活用、高品質サービスの提供)

組織の活性化

(プロ意識のある人財育成、人的資源の有効活用、ES向上)

地域との共存共栄

(地域貢献、イメージ戦略)

さらに

西日本フィナンシャルホールディングスグループ内連携によるシナジー効果を最大限に追求

進むべき方向性

「質・量ともに強固で競争力のある銀行」 「魅力のある銀行」

西日本フィナンシャルホール

「地域経済へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」を目指していきます。

持株会社体制へ移行する背景・目的

西日本シティ銀行グループでは、これまでグループ総合金融力の強化を図ってきましたが、その結果、各社の業容は順調に拡大しています。一方、金融機関を取り巻く経営環境は、めまぐるしく変化し続けています。このような状況を踏まえ、各社の特長・強みの発揮に向けてグループの連携を一層強化し、将来のさまざまな環境変化やリスクに適切に対応するために、持株会社体制へと移行し新たなグループ経営管理態勢を構築することとしました。

これからも、地域に根ざす総合金融グループとして、本持株会社体制のもとでグループ総合金融力を一段と進化させ、「地域経済へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」を目指します。



[グループ経営理念]

私たちは、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループを目指します。

[グループブランドスローガン]

ココロがある。コタエがある。

[シンボルマーク]

このシンボルマークは、未来を拓くエネルギーである「太陽」と、躍動感あふれる「羽」をモチーフとしています。放射状に伸びる羽は、無限に広がる未来を表現しています。さらに、淡いオレンジから深いオレンジへと変化を重ねる姿には、西日本FHグループを未来に向けて進化・変革させていこうという決意が込められています。

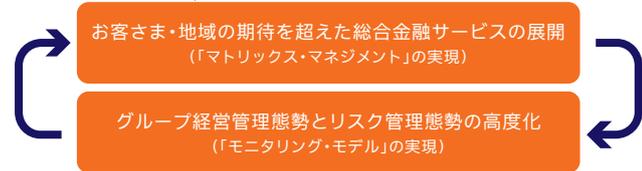
ディングス、誕生。

グループ経営戦略

持株会社体制においては、「お客さま・地域の期待を超えた総合金融サービスの展開」（「マトリックス・マネジメント」の実現）と「グループ経営管理態勢とリスク管理態勢の高度化」（「モニタリング・モデル」の実現）の2つのグループ経営戦略を展開します。

【マトリックス・マネジメント】

お客さま毎のニーズを起点として、持株会社がグループ全体を見渡した戦略を展開すること。



【モニタリング・モデル】

持株会社が子会社の事業執行状況を継続的に把握しながら、子会社に対する監督機能を発揮すること。

グループガバナンス態勢

持株会社体制においては、持株会社を監査等委員会設置会社とし、ガバナンスの強化および迅速かつ効率的な意思決定体制の構築を図るとともに、経営監督と事業執行の分離によるグループ経営管理の高度化を図り、実効性の高いグループガバナンス態勢を構築します。

実効性の高いグループガバナンス態勢の構築

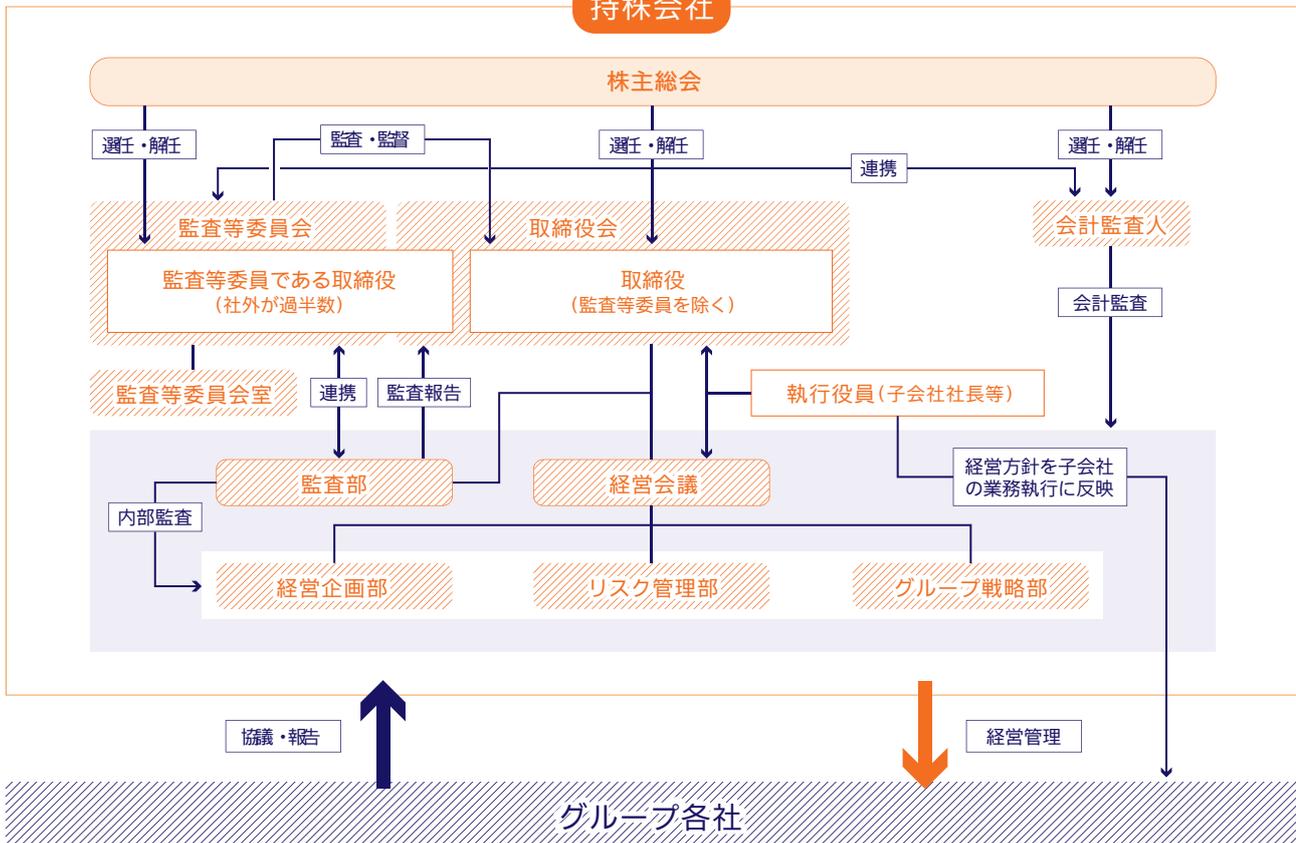
持株会社を監査等委員会設置会社とし、ガバナンスの強化に加え、重要な業務執行の権限委譲による迅速かつ効率的な意思決定体制の構築を図る。

持株会社が経営監督に特化し、グループ各社が事業執行に専念することにより、グループ経営管理の高度化を図る。

グループ経営管理のPDCAサイクル



持株会社



グループストラクチャー

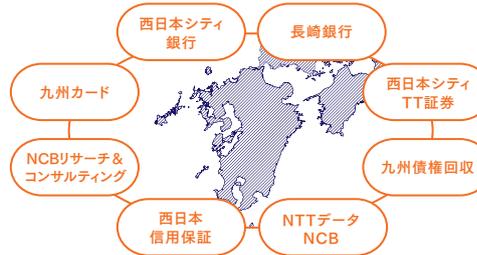
持株会社である西日本フィナンシャルホールディングス(以下「西日本FH」)を頂点としたグループ経営管理体制を構築します。西日本FHが司令塔となり、西日本シティ銀行、長崎銀行、九州カード、西日本シティTT証券、NCBリサーチ&コンサルティング、九州債権回収および西日本信用保証を横断的に俯瞰しながら、その舵取りを行います。



グループの全体像

グループ各社は、各社の特長・強みに加え、中央・海外との強力なパイプを有しており、これらを持株会社体制のもとで最大限発揮・活用することにより、「地域経済へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」を目指します。

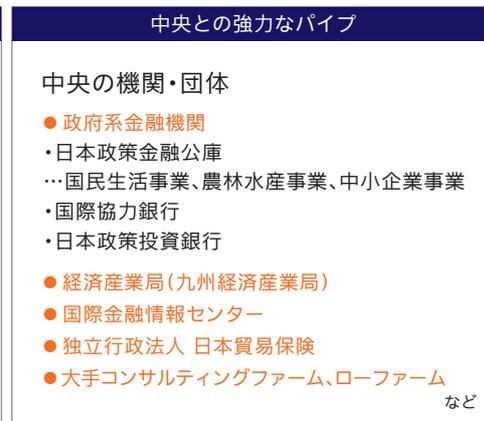
西日本フィナンシャルホールディングス



グループの規模(連結)[平成28年9月末時点]

※ 投資信託・保険・外債等債券・外貨預金の合算

総資産	純資産	グループ総預金残高	グループ総貸出金残高	グループ預り資産残高※
9兆3,896億円	4,972億円	7兆4,688億円	6兆6,144億円	9,994億円



株主還元方針 西日本フィナンシャルホールディングスは、以下のとおり株主還元方針を定めました。この方針は、株式会社西日本シティ銀行が定めていたものと実質的に変更ありません。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、銀行持株会社の公共性と経営の健全性維持の観点から、適正な内部留保の充実による財務体質の強化と株主の皆さまへの安定的な配当の継続実施を基本方針としています。具体的には、1株につき年間25円の安定配当をベースに親会社株主に帰属する当期純利益の25%程度を利益還元額の当面の目安とし、その時々々の経済情勢や財務状況、業績見通し等を勘案しつつ、実施することとしています。

西日本フィナンシャルホールディングスの各社をご紹介します。

西日本シティ銀行

西日本シティ銀行アプリ



19万ダウンロード突破
(平成28年9月末時点)

NCBデビット



先進的な商品・サービス

- ▶ アプリなど充実したデジタルチャネル
- ▶ NCBポイントサービス
- ▶ 多様な商品ラインナップ

豊富な専門チャンネル

- ▶ ローン営業室、NCBローンプラザ
- ▶ NCBいつでもプラザ
- ▶ NCBほけんプラザ



高度なソリューション

- ▶ 医療・国際・農業等の専門スタッフによる高度なコンサルティング営業
- ▶ 農林漁業6次産業化ファンド、QBファンドなど各種ファンドへの取組み



- ▶ 各種セミナーの開催



地方創生への能動的な取組み

- ▶ 各地公体と「地方創生に関する包括協定」を締結
- ▶ 創業支援サービスや「移住促進応援住宅ローン」等の商品提供
- ▶ インバウンドビジネスへの支援



地域との共栄

- ▶ 博多どんたくなど伝統行事への参加
- ▶ 金融リテラシー教育への継続的な取組み

長崎銀行

● 地域に根ざした歴史ある銀行

▶ 大正元年創業以来、地域密着型営業を展開し、長崎とともに成長

本店所在地	長崎県長崎市栄町3番14号
代表者	代表取締役頭取 山本 一雄
事業内容	銀行業
総資産	2,669億円
資本金	61億円
総預金	2,502億円
総貸出金	2,320億円
預り資産残高	458億円



九州カード

● 海外カードとの提携

▶ VISA・JCB等の世界ブランドに加え、中国銀聯・シンハンカードといったアジアブランドとも提携

● 厚い取引基盤

▶ 全国地銀系カード会社の中で会員数・加盟店・カード取扱高No.1(91社中)



海外カードとの提携

本店所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目3番18号 サンライフセンタービル7階
代表者	代表取締役社長 小石原 冽
事業内容	クレジットカード業・信用保証業
総資産	393億円
資本金	1億円
会員数	868千人
加盟店数	4万6千店
カード取扱高	2,755億円
保証残高	1,328億円



西日本シティTT証券

● 営業チャネルの広域展開

▶ 銀証一体のビジネスモデルを九州4県で展開

● 高度な資産運用提案

▶ 西日本シティ銀行のネットワークと提携先・東海東京証券のノウハウを活用した多種多様な商品提案



営業チャネルの広域展開

本店所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目3番6号
代表者	代表取締役社長 河谷 充
事業内容	金融商品取引業
総資産	108億円
資本金	30億円
預り資産残高	1,979億円



NCBリサーチ & コンサルティング

● 豊富なビジネス支援機能

- ▶ 国際経験豊かな専門人材による海外進出支援
- ▶ 各種企業向けセミナーの開催

● ファンドを通じた事業活性化

- ▶ 農林漁業6次産業化ファンドなどの各種ファンドを運営管理



アジアへの扉
(アジアビジネス支援の総合サイト)

本店所在地	福岡県福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル13階
代表者	代表取締役社長 光富 彰
事業内容	調査研究業・経営相談業
総資産	7億円
資本金	0.2億円
会員数	3.9千社



九州債権回収

● 債権の買取・管理・回収

- ▶ 債権の買取・管理・回収業務及び担保不動産の処分の受託業務を展開

本店所在地	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目5番19号 サンライフ第三ビル3階
代表者	代表取締役社長 北崎 道治
事業内容	債権管理回収業
総資産	31億円
資本金	5億円



西日本信用保証

● 住宅ローン保証業務

- ▶ 西日本シティ銀行、長崎銀行の住宅ローン保証業務などを受託

本店所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号
代表者	代表取締役社長 川上 知昭
事業内容	信用保証業
総資産	129億円
資本金	0.5億円
保証残高	1兆2,163億円



NTTデータNCB

本店所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目17番21号 NTTDATA博多駅前ビル7階
代表者	代表取締役社長 大谷 温仁
事業内容	情報システムサービス業
総資産	28億円
資本金	0.5億円

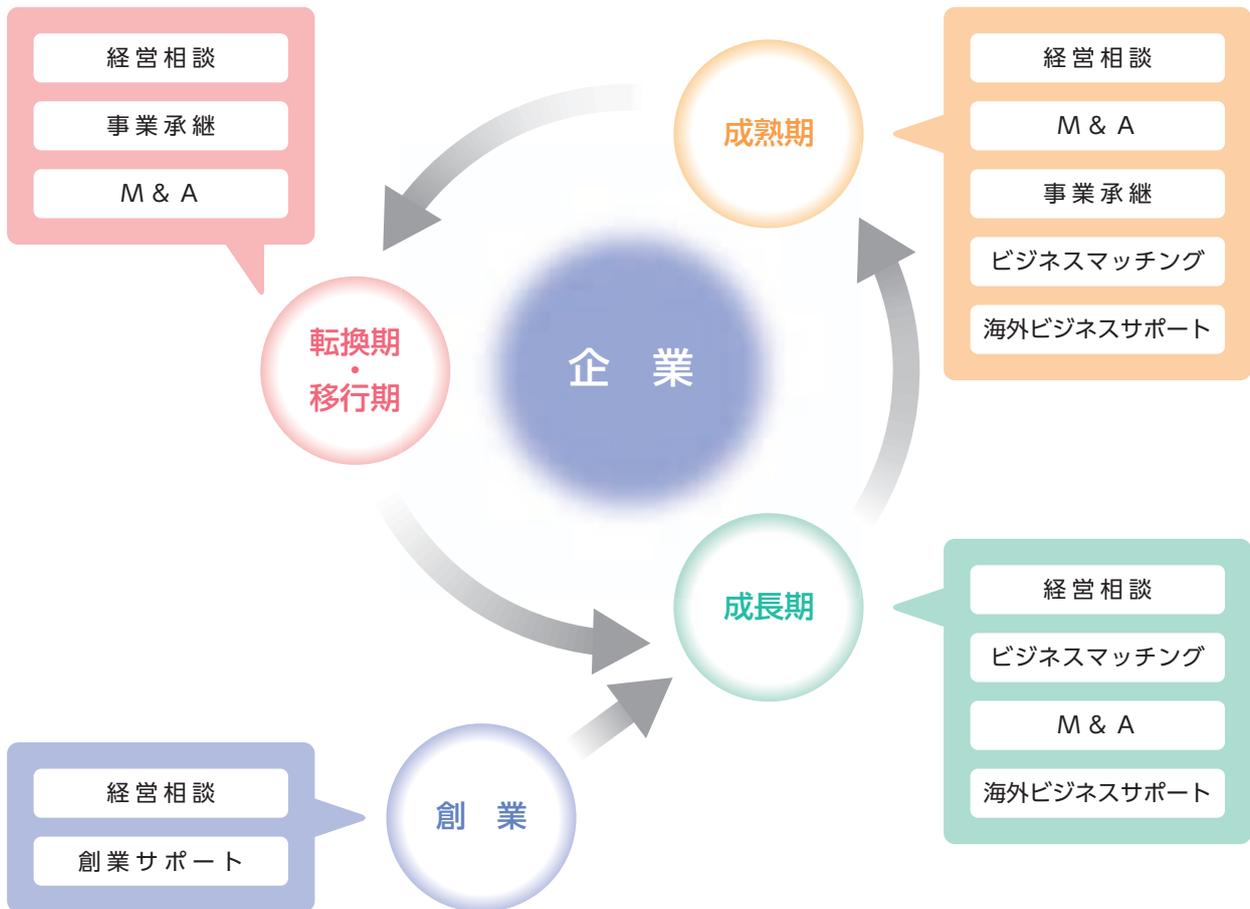
※各種計数は平成28年9月末時点の単体計数です。(但し、九州カードのカード取扱高は平成27年度の計数)
※NTTデータNCBは、持分法適用子会社です。

法人・事業主のお客さま

企業のライフステージに応じたコンサルティング機能の提供

当行は、様々なライフステージにあるお客さまのビジネスモデルや経営課題等の把握のために「事業性評価チェックシート*」を作成し、お客さまと経営課題等を共有するとともに、事業性評価に基づく融資や助言を行い、企業や産業の成長を支援しております。また、お客さまの経営課題解決のために、西日本フィナンシャルホールディングスグループ各社及び外部専門機関と連携し、お客さまに最適なソリューションの提案を行います。

*「事業性評価チェックシート」=お客さまのビジネスモデルや成長の可能性を分析し、経営課題等の把握及びソリューションの検討を行うシート



取扱商品

お客さまのニーズにお応えするために様々な商品をご用意しております。

- **ながさき地域創生応援ローン**
- **ながさき創業支援資金**
- **ながさき創業支援リース**
- **ながさきTKCローン**



地方創生や成長分野への事業に取組む企業・事業者の方がご利用いただけます。



長崎県内で新しく事業を始める事業者を応援いたします。

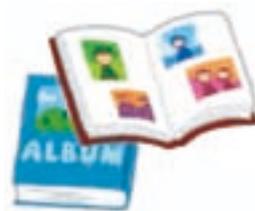


九州リースサービスとの提携商品。九州リースサービスへ申込みの取次ぎを行います。



TKC長崎支部との提携ローン。条件により金利優遇をいたします。

ライフイベントに応じた 商品・サービスのラインナップ



当行は、お客さまのライフイベントに合わせたニーズにお応えできる様々な商品・サービスをご用意し、生涯にわたってお役に立ちたいと考えております。商品・サービスの詳しい内容につきましては、お近くの営業店、もしくは当行ダイレクトセンター（☎0120-296-919）へお問い合わせください。

また、当行ホームページ【<http://www.nagasakibank.co.jp/>】でもご覧いただくことができます。

給与受取
口座を
作ろう！



就職

サービス

- ながさきオールインワン JQ SUGOCA
- ながさきインターネットバンキング
- ながさきポイントサービス

ご融資

- ながさきカードローンプレミアA(エース)

資産運用

- NISA
- 積立投資信託／投資信託
- 積立式定期預金

20代

将来に備えて
計画的な
資産形成を！



結婚・出産

ご融資

- フリーローンスーパーベスト
- ながさきEZマイカーローン

資産運用

- スーパー定期預金
- 平準払保険
(医療・がん・学資・終身・個人年金)
- ジュニアNISA

30代

憧れの
マイホーム！



住宅購入

ご融資

- 住宅ローン

40代

お子さまの
夢を叶えます！



子どもの教育

ご融資

- ながさきEZ教育ローン
- ながさきEZ教育カードローン

50代

60代



セカンド
ライフも
充実！

定年・老後・相続

ご融資

- シニアライフローン

資産運用

- 一時払保険(個人年金・終身)
- 大口定期預金
- 年金定期預金

地方創生への取組み

地域における人口減少問題の克服、成長力の確保を目指し政府が主導する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を受けて、各地方自治体では「地方版総合戦略」の策定等「地方創生」に向けた取組みを進めております。当行は、地域金融機関として、情報提供・分析・提案等を通じ積極的に「地方創生」に取組む観点から、「地方創生推進チーム」を設置し、様々な取組みを行っております。

地方創生ガイドブック 2016の作成

深化する地方創生の内容や補助事業等の最新情報をわかりやすくまとめた「地方創生ガイドブック 2016」を作成し、各営業店にてお客さまに配布しております。

また、当行ホームページ【<http://www.nagasakibank.co.jp>】でもご覧になることができます。



「医療経営セミナーin長崎」の開催

平成 28 年 9 月 13 日に西日本シティ銀行と共催で、「医療経営セミナー in 長崎」をホテルニュー長崎で開催し、長崎県内の病院を中心におよそ 80 名の方々に参加されました。

セミナーの第1部では、厚生労働省の染谷輝氏より、「医療法人の制度改革について」と題して、第2部では、株式会社川原経営総合センター・病院コンサルティング部佐藤副部長より、「地域医療構想と医療機関が今後とるべき経営戦略」と題して、それぞれ講演いただきました。

日本政策金融公庫との連携

当行は、日本政策金融公庫長崎支店・佐世保支店と「地域経済の活性化に向けた業務連携・協力に関する覚書」を締結しております。

この取組みの目的は、地域の事業者の経営をサポートしている当行と、中小企業及び農林水産業者の支援を担う政府系金融機関である日本政策金融公庫が、創業や海外展開、農工商連携等の事業分野ごとに連携を図ることで、地場企業の発展と地域経済の振興に貢献することです。

この取組みにより両機関の強みを生かしつつ、相互ノウハウ等を補完・共有することによって、質の高いサービスをワンストップでご提供しております。

ながさき地域創生応援ローン

地元企業の雇用増加や新規事業展開等を支援する融資商品「ながさき地域創生応援ローン」を、ご好評につき、平成 29 年 3 月 31 日まで取扱期間を延長しております。

地方創生や成長分野への事業に取組む企業・事業者の方であれば、ご利用が可能です。



定住化促進に向けた取組み

定住促進事業への支援策として、1 年以内に県外から移住されたお客さまに限定し、住宅ローンのお申込み条件の一部を緩和する「移住促進応援住宅ローン」を取扱っております。

●申込条件緩和内容

項目	一般の住宅ローン	移住促進応援住宅ローン
勤続年数	—	—
給与所得者	勤続 1 年以上	問いません
法人代表者	勤続 2 年以上	勤続 2 年以上
個人事業主	営業 2 年以上	営業 2 年以上
年収	—	—
給与所得者	税込年収 200 万円以上	問いません
法人代表者	税込年収 200 万円以上	税込年収 200 万円以上
個人事業主	平均所得 200 万円以上 (直近 2 年間)	平均所得 200 万円以上 (直近 2 年間)

地域の皆さまとともに



「長崎銀行お客さま投資環境セミナー」の開催

平成 28 年 7 月 27 日に金融教育活動の一環として、野村證券の相馬氏、岡三アセットマネジメントの江藤氏を講師に招き、預かり資産を保有しているお客さまを対象とした「長崎銀行お客さま投資環境セミナー」をホテルニュー長崎で開催し、54 名の方々が参加されました。

参加いただいたお客さまの関心は高く、熱心にメモをとられ、講師に対して多数の質問が寄せられました。

お客さま向けセミナーの開催は、地域貢献・金融教育活動への取組みとして、今後も継続してまいります。

ながさきサマースクール～お金のがっこう～

平成 28 年 8 月 2 日に「ながさきサマースクール～お金のがっこう～」を当行本店及び別館で開催し、小学校 5・6 年生とその保護者 7 組が参加されました。子ども達は「お金のがっこう」で、お金の銀行の役割についてクイズ形式で楽しく学んだ後、窓口体験や 1 億円の重さの体験等を通して、銀行の仕組みやお金の大切さについて学んでいただきました。また、保護者の皆さまには、「金融セミナー」を受講していただき、ライフプランニングについて理解を深めていただきました。



ねんりんピック長崎2016へのボランティア派遣

「ねんりんピック長崎 2016」が平成 28 年 10 月 15 日～ 18 日に開催され、大会運営ボランティアとして当行から 49 名が参加しました。

当日は長崎県立総合運動公園で開会式が行われ、開会式演技がんばらば体操誘致係、開会式選手団荷物係としてお手伝いさせていただきました。

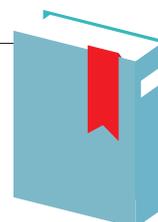
地域行事への参加

地域社会の一員として、営業店周辺のイベント等への協賛・参加を積極的に行っております。



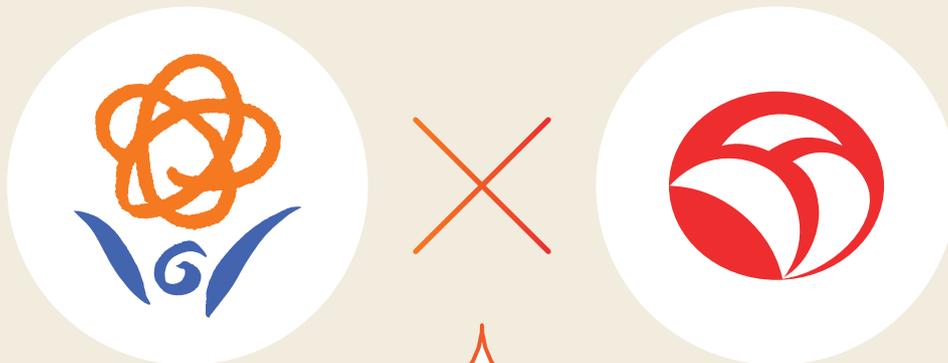
公益財団法人長崎銀行奨学育成基金の運営

公益財団法人長崎銀行奨学育成基金は、長崎県内地域における教育、文化等の振興を図ることを目的とし、長崎県内出身者の学生に対する奨学助成、教育文化活動の奨励、助成を行っております。なお、教育文化活動の奨励、助成事業としては、当行と協同で昭和 57 年から長崎市立図書館や長崎県立図書館へ図書への寄贈を行っております。



西日本シティ銀行との人事交流

当行は、西日本シティ銀行との人事交流を通じて、全国トップレベルのノウハウを吸収し、地域経済の発展に向けてさらなるサービスの向上に取り組んでいます。



岡部 晴信

平成 27 年 7 月より、営業統括部 法人営業室で勤務

営業店を通じ法人のお客さまに満足していただけるようなサービスを心掛けています。そのためには営業店の行員にもお客さまに対し明るく前向きに接してもらう事が大切で、常にお客さま目線に立ち、営業店と情報、悩みを共有し、日々業務に取り組んでいます。よろしくお願いします。



大津 善昭

(現職：有田支店 支店長)

平成 22 年 4 月～平成 22 年 9 月に、西日本シティ銀行 営業推進部 プライベートバンキング室に研修派遣

■ 研修内容：事業承継、資産承継(資格取得/FP1 級)

お世話になったプライベートバンキング室の業務は、お客さまの大切な資産や事業を次世代へスムーズに承継するためのサポートであり、責任感・使命感を肌で感じることができました。また、事業・資産承継には税務知識が必要不可欠で、毎日遅くまで勉強(特にFP1 級)しました。長崎銀行に戻ってからは、自社株移転の承継や本業支援に伴う融資でお客さまに大変喜ばれ、私自身新たな武器を手に入れたと感じています。



山本 賢二

平成 27 年 5 月より、営業統括部 法人営業室で勤務

西日本FHの情報網、ノウハウを生かし、全国トップレベルのサービスをお客さまに提供したいと考えています。



岩永 和寿

(現職：思案橋支店 支店長)

平成 22 年 10 月に、西日本シティ銀行 法人ソリューション部 医療チームに研修派遣

■ 研修内容：医療、介護
(資格取得/医療経営士 3 級)

病院の役職員や医療関連のコンサルティング会社など数多くの方と面談する機会があり、知識を深めノウハウを得ることが出来ました。医療・介護の分野においては改定や制度の変更も多く、政策動向等を見極めて検討する必要性もあることから、西日本 FH 内で連携を図りながら、地域のお客さまのお役に立てればと思います。



藤丸 達哉

平成 26 年 10 月より、営業統括部 営業企画グループで勤務

地域の皆さまに満足いただける商品・サービスを提供できるように、日々情報収集のアンテナを立て、企画業務にあたっています。わたくしども長崎銀行を、今後もよろしくお願いします。



土肥 孝弘

平成 28 年 4 月から、西日本シティ銀行 法人ソリューション部 コーポレートアドバイザーグループに研修派遣中

■ 研修内容：農業・林業・水産業融資

農業だけでも非常に多岐にわたります。普段学ぶことができない専門的な農業融資のノウハウを吸収するため、研修の場をいただいています。西日本シティ銀行の方からも親切に教えていただいております。この経験と人との出会い・繋がりが、地域農家や企業のお役に立てると思うと、大きな充実感を感じます。



高田 祐一

平成 27 年 10 月より、営業統括部 資産運用室で勤務

資産運用ビジネスを通じて、営業店と一緒に汗をかいていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

行員の紹介

地域の皆さまのお役にたてるよう、私たちが頑張ります!

Q

①いつも心がけている事は？ ②やりがいを感じる事(時)は？ ③今後の目標は？



森邊 祐美

入行 8 年目

滑石支店
預金担当

- ①笑顔での対応です。
- ②お客さまが喜んでいただいた時や、コツコツ努力していたことが成果に結びついた時です。
- ③長崎銀行をメインバンクとして利用していただけるように、丁寧な対応、笑顔での接客を心掛けます。既存のお客さまだけでなく、新規のお客さまにも積極的にニーズ喚起を行ってまいります。幅広い提案ができるように知識を身につけます。

橋本 和樹

入行 3 年目

大村支店
渉外担当

- ①お客さまに身近に感じていただくために、分かりやすい言葉で話すようにしています。また、お客さまにどのようなサービスが提供できるかを常に考えています。
- ②提案したサービスをお客さまが納得してくださり、「ありがとう。」の言葉をいただいた時です。「あなたの対応が親切だったから」とお知り合いの方をご紹介いただいた時です。
- ③お客さまの中で記憶に残る銀行員(人)になることです。また、「銀行員＝橋本さん」と思ってもらえる存在になることです。



藤澤 麗奈

入行 8 年目

口之津支店
貸付担当

- ①お客さまの目を見て話し、お客さまの表情を見て、どう感じられているのかを想像しながら話を進めるようにしています。
- ②お客さまから「ありがとう。」の言葉をいただいた時です。
- ③一人ひとりのお客さまを大切に、たくさんのお客さまが笑顔になれるような提案ができる行員になりたいです。

岩本 由香莉

入行 7 年目

江川支店
預金担当

- ①お客さまのニーズを掴むために、窓口での会話を大切にしています。
- ②お客さまから「あなたにお願いしてよかった。」「ありがとう。」などの感謝の言葉をいただいた時です。
- ③より良いサービスや提案を自ら発信していき、お客さまの信頼と期待に応えていきたいです。



小河原 弘善

入行 6 年目

時津支店
渉外担当

- ①お客さまにタイムリーな情報を提供できるよう、常に探究心を持つように心掛けています。
- ②難しい案件を担当させていただいた時やお客さまにお褒めの言葉をいただいた時です。
- ③数多くのお客さまや案件に携われるように知識を増やしたいです。

川口 あい

入行 5 年目

大村支店
貸付担当

- ①先入観を持たずに、お客さまに商品の提案を行うようにしています。定期的にアフターフォローを行い、お客さまのご意向を把握するように努めています。
- ②支店の目標が達成した時です。
- ③幅広い知識を身につけ、お客さまにとってより良い情報を的確に提供できるようになりたいです。



輝く女性行員たちに

第1回女性支店長職座談会

第1回女性支店長職座談会

長崎銀行では、平成28年7月までに3人の女性支店長職が誕生しました。そこで今回は、支店長職の3名にこれまでの苦労や女性のキャリアアップについて話を伺いました。



左から 大塚、倉田、神宮

— これまでの経験は？

倉田: 本店営業部に配属後、新戸町支店(平成24年10月本店営業部に統合)、新大工町支店、思案橋支店、江川支店を経て、平成22年4月に営業統括部資産運用室に異動となり、資産運用に関する営業店のサポートを行っています。

大塚: 本店営業部に配属後、総合企画部、融資部、営業統括部で勤務し、平成21年9月より総合企画部金融商品管理室で、預かり資産のミドル・バック・コンプライアンス業務を行っています。営業統括部に勤

務していた平成19年9月に金融商品取引法が施行され、その対応準備等を任された時以来ずっと預かり資産業務に携わっています。

神宮: 千歳支店に配属後、本店営業部、長崎駅前支店(平成25年3月本店営業部に統合)で預金や融資業務を担当し、平成23年5月に融資部融資企画室に異動となり、昨年7月から女性初の融資部審査役になりました。

— 苦労したことや転機について教えてください。

倉田: 営業店での勤務が長かったのですが、初めて本部に異動となり、しかも女性で初めて資産運用室に配属になったことが転機でした。当時の資産運用室は、明確な仕事があったわけではなく、全てが初めてのことばかりの中で、徐々に現在の業務を確立していきました。

大塚: 営業店の勤務経験は4年弱しかなく、本部での勤務がこれまでの銀行員生活の大半を占めますが、誰もが経験できない業務を担当させてもらい、他行や他社の方に相談しながら自分自身で考え、新しいものをつくっていく仕事をしてきました。最近

は法改正も頻繁に行われ、対応スピードをこれまで以上にアップさせる必要があり、毎日毎日が必死で、いつが転機だったかもわかりません。

神宮: 入行7年目の時に融資担当の先輩が産休になり、預金担当から融資担当に係り替えになったことが1つ目の転機だったと思います。また、営業店から融資部に異動になったことが2つ目の転機です。本部では営業店の都合ばかりを優先できず、本部として営業店を厳しく指導することも必要なため、その時は苦労しました。

聞きました！

— 支店長職に就任されて、いかがですか？

倉田: これまでも後輩たちへの指導は積極的に行ってききましたが、室長になれば部下指導だけでなく、資産運用室全体のマネジメントが必要で、私に務まるだろうかと不安を感じていました。そんな時に、「倉田さんならではの室長、倉田さんが考える室長になれば良いよ。」と周りの方に言っていたら、部長をはじめ周りの方々からの支援もあって、なんとかやっている状況です。

大塚: 本部勤務が長くても、一生懸命に頑張っていれば評価してもらえる時代が来たのだと実感しています。私のような経歴でも支店長職になれるというロールモデルになればと思っています。担当業務はこれまでと変わっていないため、支店長職に見合う仕事ができているとは思えませんが、頑



融資部審査グループ 神宮主任審査役



資産運用室 倉田室長

張って支店長職に見合う仕事をしていかなければいけないと思っています。

神宮: プレッシャーはなかったですか？

倉田: 私の場合、幸い初めてのことはばかりで比較対象者がいなかったため、あまりプレッシャーは感じなかったです。

大塚: そこは倉田室長の前向きさですよ。

倉田: 私になれたのだから皆さんも大丈夫ですよ。

神宮: まだ支店長職になられていない営業店や周りの先輩方のことを考えると、すごいプレッシャーを感じています。また、業務においても、審査役という立場で、案件を通したいという支店長と案件についてやりとりをするので、正直プレッシャーに押し潰されそうです。

— 最後に後輩たちにメッセージをお願いします。

倉田: 以前は女性だから無理だと考えることが多かったのですが、仕事において男女の性別は関係ないと考えるようになりました。上を目指して頑張れば昇進昇格もでき、活躍できる環境は整備されているので、子どもを産んでも是非仕事を続けていただき、長崎銀行を支えてもらいたいです。

大塚: 預かり資産営業において女性の力は大きく、自分たちは、銀行全体の営業推進において大きな役割を担っているのだと思っていただきたい。コンプライアンスの面でも総じて女性の方が取組みに真剣さを感じます。自信を持って進んでもらいたいと思います。また、女性のキャリアはプライベート環境や時代の流れに大きく左右されます。先輩方にも支店長職にふさわしい方はたくさんおられたのに実現が今になったのはそのためですよ。若い人たちは、自分なりのビジョンを持って、時代の流れに乗り、掴みたいチャンスを掴むための事前準備

をしっかりやってほしいですね。

神宮: 一生懸命に頑張っていれば、必ず手を差し伸べてくれる人がいるので、何でも無理だと考えるのではなく、とにかくやってみる。仕事においてもプライベートにおいても、興味を持って色々なことにチャレンジしてもらいたいです。



金融商品管理室 大塚室次長

業績のご案内

◎損益

収益状況につきましては、厳しい経済環境・金融環境のもとで、効率的な資金の調達・運用に努めるとともに、経営全般の合理化・効率化に取り組みました結果、平成 28 年 9 月期のコア業務純益は前中間期と同額の 1 億 90 百万円となりました。

また、損益につきましては、経常利益は前中間期比 75 百万円減少し、2 億 98 百万円、中間純利益は前中間期比 19 百万円減少し、2 億 80 百万円となりました。

●コア業務純益の推移



用語説明

コア業務純益

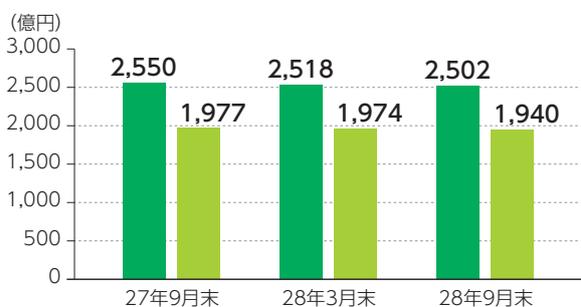
コア業務純益とは預貸金業務による資金利益や投資信託等の販売手数料などの役務取引等利益などを含む業務粗利益から経費を差し引いたもので、銀行の本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務粗利益 (除く国債等債券損益)} - \text{経費}$$

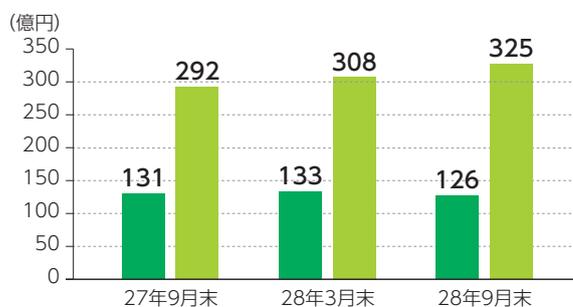
◎預金・預り資産の状況

預金(譲渡性預金を含む)につきましては、個人預金を中心に積極的な営業活動を行いました。平成 28 年 9 月末の預金残高(譲渡性預金を含む)は前中間期末比 48 億円減少し、2,502 億円、個人預金は前中間期末比 37 億円減少し、1,940 億円となりました。また、平成 28 年 9 月末の預り資産につきましては、投資信託残高は前中間期末比 5 億円減少し、126 億円、保険残高は前中間期末比 33 億円増加し、325 億円となりました。

●預金残高推移



●預り資産残高推移

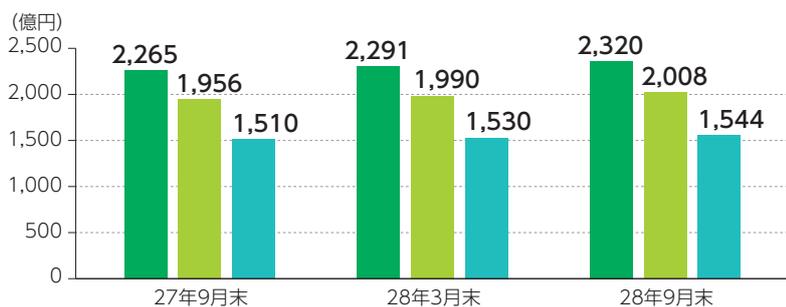


◎貸出金の状況

貸出金につきましては、個人・法人のリテール分野を中心に資金需要に積極的な対応を行いました結果、平成 28 年 9 月末の貸出金残高は前中間期末比 55 億円増加し、2,320 億円となりました。

また、中小企業等に対する貸出金残高は前中間期末比 52 億円増加し、2,008 億円、個人ローン残高は前中間期末比 34 億円増加し、1,544 億円となりました。

●貸出金残高推移



◎不良債権処理への取組み

当行は厳格な自己査定の結果に基づいた償却・引当(いわゆる不良債権処理)を行っています。

自己査定の結果は、金融再生法に基づき開示しています。

●平成 28 年 9 月末の状況

(億円)

	債権額 A	貸倒引当金 B	担保・保証等 C	保全率 (B+C)÷A
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7	0	6	100.00%
危険債権	43	6	32	89.88
要管理債権	—	—	—	—
小計	50	7	38	91.30
正常債権	2,272			
合計	2,322			

用語説明

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更正手続開始、再生手続開始の申し立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

危険債権

債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

正常債権

債務者の財政状況及び経営成績に特に問題が無いものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権

◎不良債権残高と保全状況

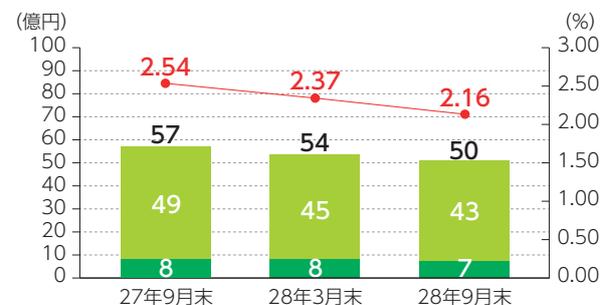
平成 28 年 9 月末における金融再生法ベースの不良債権残高は、前中間期末比 7 億円減少し、50 億円となり、不良債権比率は前中間期末比 0.38 ポイント低下し、2.16%となりました。

保全率については、91.30%と将来にわたる信用リスクにも対応できる水準を確保しております。

今後とも、お取引の皆さまの業績改善にお役に立てるように努め、不良債権の未然防止に取り組んでまいります。

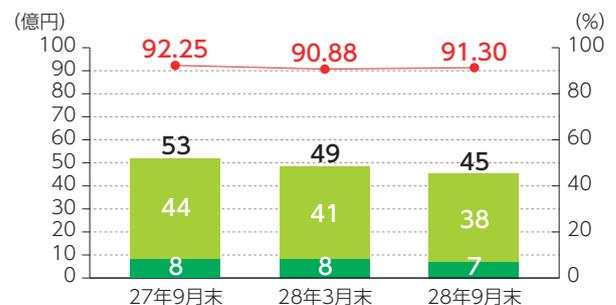
●金融再生法による開示債権

■ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ■ 危険債権
■ 要管理債権 ● 不良債権比率



●金融再生法開示債権にかかる保全状況

■ 貸倒引当金 ■ 担保・保証等
● 保全率

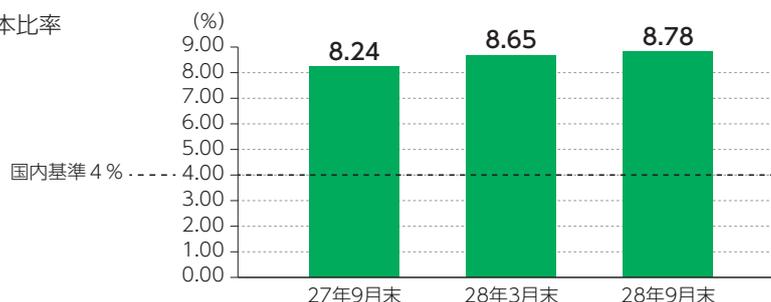


◎自己資本比率

自己資本比率とは、総資産(資産の各項目にリスク・ウエイトを乗じて得た額の合計額)に対する自己資本の比率のことで、金融機関経営の健全性を示す重要な指標です。国内のみで営業を行っている銀行の自己資本比率は4%以上とされています。

当行の平成 28 年 9 月末の自己資本比率は、8.78%と国内基準を上回っております。

●自己資本比率



安心への取組み

金融犯罪対策への取組み

当行は、警察等とも連携して、社会問題となっている「振り込み詐欺」をはじめとする特殊詐欺及びインターネットバンキングを利用した不正送金等の金融犯罪を防止するための取組みを行っております。

■ 振り込み詐欺などの特殊詐欺被害防止に向けた取組み

平成 25 年 4 月より「改正犯罪収益移転防止法」が施行されたことに伴い、口座開設や多額の現金によるお取引を行う際には、ご本人であることの確認に加え、お取引の目的やご職業等（法人の場合は事業内容や実質の支配者等）の確認をお願いしております。

また平成 26 年度より、お客さまを特殊詐欺被害から守るため、窓口でのお取引内容に応じて、「声かけ」や「アンケート」の実施、振込や保証小切手等でのお支払いをお願いするなど、「特殊詐欺被害の撲滅に向けた強化運動」を、警察、銀行協会等と連携して取り組んでおります。

あわせて、不正利用口座を検知した場合は、口座凍結等の措置によりお客さまの財産保護に努めております。

なお、当行の行員や警察官が電話や店舗外で暗証番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありませんので、十分ご注意ください。

■ インターネットバンキングのセキュリティ対策強化に向けた取組み

① 不正送金等の防止に向けたシステム対策

個人のお客さまには、「ワンタイムパスワード」または「メール通知パスワード」を導入し、いずれかを必ずご利用いただくことで、安全性の向上を図っております。

法人、個人事業主のお客さまには、登録したパソコン以外からは接続できない仕組みを導入するとともに、キーホルダーサイズの専用機器（無料）で利用可能な「ワンタイムパスワード」を必ずご利用いただくなど、不正送金等の防止に向けた対策に取り組んでおります。

② お客さまご利用のパソコンの対策

当行ホームページでは、偽サイトへの誘導（フィッシング）や、ウィルス（スパイウェア）によるパスワード等の窃取を防止する、不正送金対策ソフト「Phish Wall（フィッシュウォール）」を無料でご提供しており、セキュリティ対策としてのご利用を強くお勧めしております。

③ お客さまへの注意喚起

不正送金を防止するために、お客さまご自身で講じていただく対策として、【必ず行っていただきたいこと】、【絶対してはいけないこと】、【推奨するセキュリティ対策】をホームページ上にてご案内しております。

視覚障がいをお持ちのお客さまに配慮した取組み

全ての営業店、店外 ATM コーナーとあわせて合計 40 台（平成 28 年 12 月 31 日現在）の視覚障がい者対応 ATM を設置しております。

また、代筆・代読のご対応も実施しておりますので、詳しくは、取引店窓口にお問い合わせください。



各種お問い合わせ先

● ご意見・苦情

◎長崎銀行 お客さま相談室

TEL 095-829-4100

【受付時間】月～金曜日 9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

● 金融犯罪被害に関するご相談（振り込み詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口（事務部）

TEL 095-816-2211

【受付時間】月～金曜日 9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

● 金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会相談室

TEL 0570-017109 または TEL 03-5252-3772

【受付時間】月～金曜日 9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

「全国銀行協会相談室」は、銀行に関する様々なご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口として、全国銀行協会が運営しております。ご相談・ご照会等は無料です。

詳しくは全国銀行協会のホームページ（<http://www.zenginkyo.or.jp/adr/>）をご参照ください。

また、「全国銀行協会相談室」がお客さまからの苦情の申出を受け、原則として 2 ヶ月を経過してもトラブルが解決しない場合には、「あっせん委員会」をご利用いただけます。詳しくは全国銀行協会にお尋ねください。

店舗・ATM 一覧

◎ 店舗一覧 (平成28年12月31日現在)

	店舗名	ATM平日稼働時間		休日稼働ATM	音声ATM	住所	電話番号
		開始	終了				
長崎県	本店営業部	8:00	21:00	●	●	〒850-8666 長崎市栄町3番14号	TEL 095-825-4161
	千歳支店	8:00	21:00	●	●	〒852-8135 長崎市千歳町3番8号サンパーク住吉ビル内	TEL 095-849-1130
	浦上支店	8:00	19:00	●	●	〒852-8118 長崎市松山町4番32号	TEL 095-844-0104
	新大工町支店	8:45	19:00	●	●	〒850-0017 長崎市新大工町4番14号	TEL 095-826-6361
	思案橋支店	8:45	18:00		●	〒850-0832 長崎市油屋町4番7号	TEL 095-826-7146
	滑石支店	8:00	19:00	●	●	〒852-8062 長崎市大園町5番6号	TEL 095-856-2161
	江川支店	8:45	18:00		●	〒850-0992 長崎市江川町195番地	TEL 095-878-5115
	城山支店	8:45	18:00		●	〒852-8034 長崎市城栄町32番3号	TEL 095-847-1020
	戸石支店	8:00	19:00	●	●	〒851-0113 長崎市戸石町1739番地6	TEL 095-830-1121
	長与支店	8:00	20:00	●	●	〒851-2128 西彼杵郡長与町嬉里郷字六反田701番地	TEL 095-883-6221
	時津支店	8:45	20:00	●	●	〒851-2105 西彼杵郡時津町浦郷272番地3	TEL 095-840-2230
	諫早支店	8:45	21:00	●	●	〒854-0024 諫早市上町3番13号	TEL 0957-22-3347
	大村支店	8:45	19:00	●	●	〒856-0831 大村市東本町2番地4	TEL 0957-52-3181
	西大村支店	8:45	18:00		●	〒856-0813 大村市西大村本町324番地7	TEL 0957-53-6210
	島原支店	8:45	19:00	●	●	〒855-0802 島原市弁天町1丁目7080番地	TEL 0957-62-4121
	有明支店	8:45	19:00	●	●	〒859-1401 島原市有明町湯江甲263番地1	TEL 0957-68-1131
口之津支店	8:45	19:00	●	●	〒859-2502 南島原市口之津町甲2175番地1	TEL 0957-86-4151	
佐世保支店	8:45	19:00	●	●	〒857-0052 佐世保市松浦町4番22号	TEL 0956-22-6171	
大瀬戸支店	8:45	18:00	●	●	〒857-2302 西海市大瀬戸町瀬戸樫浦郷2278番地26	TEL 0959-22-0073	
佐賀県	佐賀支店	8:45	18:00		●	〒840-0831 佐賀市松原3丁目1番31号	TEL 0952-24-2281
熊本県	有田支店	8:45	18:00		●	〒844-0018 西松浦郡有田町本町丙930番地4	TEL 0955-42-4104
	熊本支店	8:45	18:00		●	〒860-0807 熊本市中央区下通1丁目8番20号	TEL 096-352-7155
	八代支店	8:45	18:00		●	〒866-0856 八代市通町1番12号	TEL 0965-32-3161

(注) ・ATM休日(土・日・祝)稼働時間 9:00~17:00【ただし、本店営業部(19:00終了)、佐世保支店(18:00終了)】
 ・音声ATM……視覚障がい者対応ATM(音声案内機能付ATM)

◎ 店舗外ATMコーナー

設置場所	平日稼働時間		休日稼働時間		音声ATM
	開始	終了	開始	終了	
三原台病院	9:00	18:00	9:00	17:00	●
ゆめタウン夢彩都	10:00	20:00	10:00	19:00	●
道の尾	8:45	19:00		9:00	
みらい長崎ココウォーク	8:00	21:00	8:00	19:00	●
浜町	8:00	21:00	8:00	21:00	●
アミュプラザ長崎	8:00	21:00	9:00	19:00	●
滑石ショッピングセンター	8:45	19:00	9:00	17:00	●
ジョイフルサンショッピングプラザ江川店	9:00	20:30	9:00	19:00	●
イオン時津ショッピングセンター	8:00	21:00	8:00	19:00	●
イオン東長崎ショッピングセンター	8:00	20:00	8:00	19:00	●
福田	8:45	18:00	9:00	17:00	●
イオン大村ショッピングセンター	9:00	21:00	9:00	19:00	●
まるたか富の原店	8:45	21:00	8:45	19:00	●

◎ ローンプラザ

ながさきローンプラザ

長崎市栄町1番15号(長崎銀行別館1F)
 ☎0120-64-7171 TEL 095-829-4371

◎ ATM提携サービス



(注) 「ながさきポイントサービス」にご加入いただいているお客さまは、セブン銀行ATMは「ステージ1」以上、ゆうちょ銀行ATMは「ステージ3」で、ご利用手数料が無料となります。「ながさきポイントサービス」は別途お申込みが必要となります。上記以外のお客さまは、提携先所定の手数料が必要となります。

◎ 浜町店外ATMの移転

お客さまの利便性向上に向けた取組みの一環として、平成28年10月3日、「浜町店外ATM」を長崎電気軌道の観光通り電停前に移転しました。移転先ではATMを2台に増設したほか、利用時間を8:00~21:00(平日、土・日・祝日ともに)に拡大しています。





世界新三大夜景

平成 24 年 10 月 5 日に長崎市で開催された「夜景サミット 2012 in 長崎」において、香港、モナコ、長崎の 3 都市が世界を代表する夜景都市「世界新三大夜景」として認定されました。

認定は「夜景サミット」の主催者でもあり、日本最大のネットワークを誇る一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューローの会員「夜景観賞士」3,500 人へのアンケートを交えた、厳正な審査によるものとのことです。

“鶴の港”と称される長崎港を中心に、山々が取り囲むすり鉢状の地形は、長崎独自の立体的な夜景を創り出すとともに、稲佐山・鍋冠山・風頭公園などに代表される多くの視点場から夜景を楽しむことができます。

世界が認めた“長崎夜景”の美を、あなたの目で確かめてみてはいかがでしょうか。

写真提供：長崎県観光連盟